

## 令和2年度活動予算概要

### 予算概況

昨年度は、周辺学協会と連携を図った普及啓発事業収入の増加があったが、連携は未だ定着に至らず、また税の還付、助成金の獲得なども不確定で、予算作成にあたっては組み込まなかった（2019年度予算を軸とした）。

経常収入の会費収入は、退会会員の抑止や新たな入会者の勧誘に務めているが、特効薬がない状況で、維持から微増を目指す。併せて未納入者への会員継続と会費納入の働きかけを強化する（23,928千円）。

研究・教育事業は、研究発表会を大阪市泉佐野市（エブノ泉の森ホール）で計画し、大阪湾・堺泉北・和歌山地区の安全の現場に従事する方々の参加に資するとともに、多くの方々の参加を得ることを目指す。併せて快適性と経費の削減に努める（2,759千円）。2020プロセス安全シンポジウムの開催を考慮に入れ（昨年とほぼ同額4,200千円）、研究・教育収入計**6,959**千円。

普及及び啓発事業（受託事業を除く）について、2019（令和1）年度は、安全工学セミナーの会場の大型化、周辺学協会との連携推進など、収入の拡大に努め前年比+1,290千円の実績であった。ただし、連携体制の定着化の不完全な点等、令和2年度予算の策定にあたっては、平成28～30年度のおおよそ平均並みの収入（11,613千円）から、既に実施を見送った（COVID-19の流行による）実験講座を配慮した**10,855**千円見込んでいる。

その他収入**705**千円で、収入の部合計は、**42,446**千円となる。

事業収入は、努力により直ちに反映される収入源であり、継続して、更に、人員の拡大を模索し（安全工学セミナー／60人に拡大など）、周辺学協会などへの連携の強化を推進する。

経常費用として、直近の2019年度予算を基本とした。令和1（2019）年度は、事業に係る人件費が、平成30（2018）年度より、492千円上昇したが、業務増加による時間外手当の増加による。職員全体で担い合うことで、業務の効率化と組み換えによる合理化を推進する。

事業経費が**18,663**千円、人件費**17,549**千円、その他管理費**5,334**千円、その他経費が**1,038**千円で、事業費計**42,583**千円となり、当期の正味財産増減は△207千円の減額を見込むが、経常収入にかかる上記施策（他学会や業界団体などへの協賛、広報協力の依頼の強化、及び普及事業に係る参加人員の増加・拡大）を強化し、経常収支の向上、増益化を図る。

学会の新たな展望や展開を考えたとき、長期的な視野に立った、抜本的な収支構造の強化が求められ、学会の将来構想に基づく施策の検討を進める。

2020年1月から新型コロナウイルスの拡散流行が起これ、政府の緊急事態宣言が発出される事態となった。安全工学実験セミナーなどすでに明らかな影響は収支計画に組み込んだが、今後の影響については、この推移による。

## 2020年度 予算案

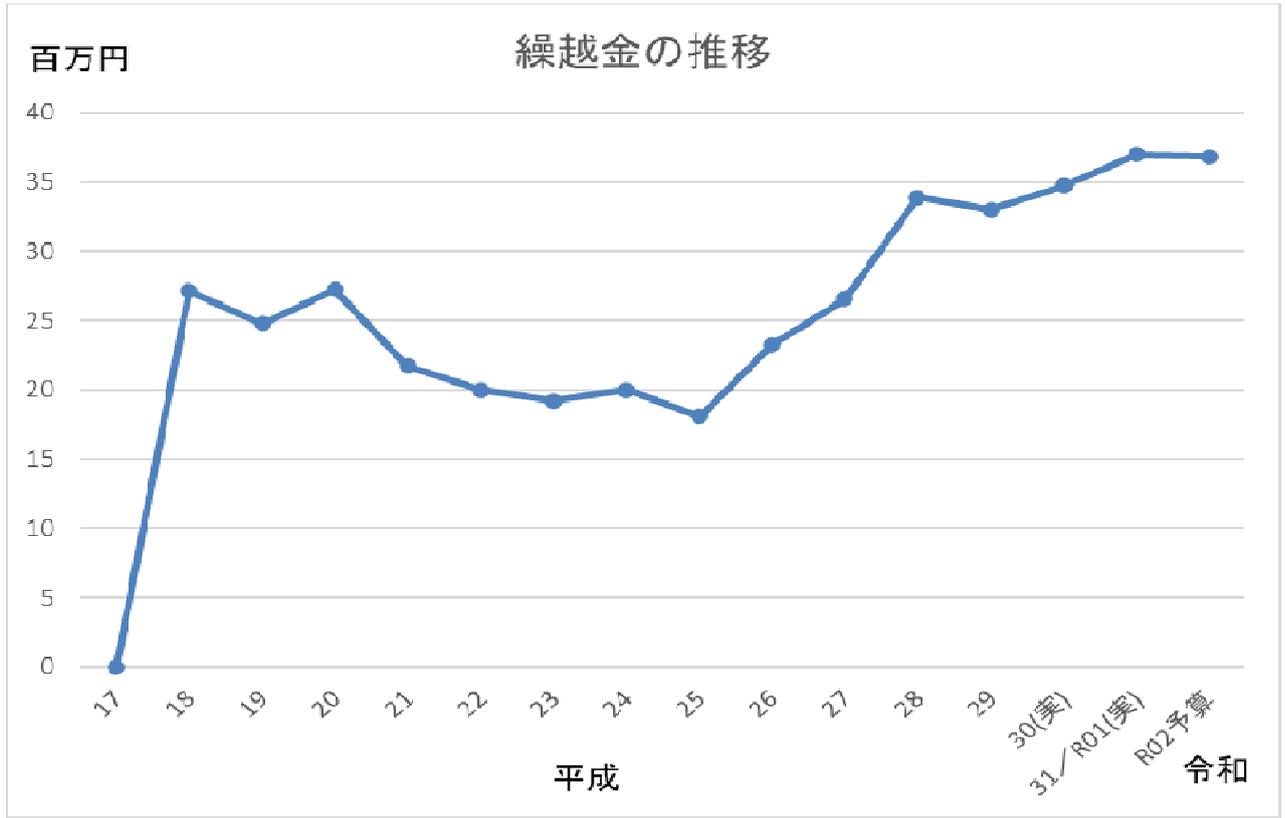
総合会計 2020年4月1日～2021年3月31日

金額単位:円

安全工学会

科 目	2018年度実績	2019年度 予算	2019年度 実績	2020年度 予算	備 考
I. 収入の部					
1. 会費収入					
1. 1一般会費収入	23,995,200	24,168,000	23,928,000	23,928,000	
維持会員	8,400,000	8,400,000	8,400,000	8,400,000	現状維持⇒ 連携会員など⇒ 周辺学会・産業界への拡大
賛助会員	10,200,000	10,200,000	10,200,000	10,200,000	
普通会員	5,155,200	5,280,000	5,049,600	5,049,600	
学生会員	182,400	216,000	187,200	187,200	
シニア会員	57,600	72,000	91,200	91,200	
2. 一般事業収入(研究・普及啓発)	24,945,611	18,571,216	23,120,436	18,413,180	
2. 1研究・教育事業収入	7,008,500	6,958,500	9,293,500	6,958,500	
安全工学研究発表会	2,831,500	2,758,500	2,848,500	2,758,500	2019予算並み
プロセス安全シンポジウム APSS	4,177,000	4,200,000	6,445,000	4,200,000	
2. 2普及啓発事業収入	17,937,111	11,612,716	13,826,936	10,854,680	
2.2.1普及啓発事業収入(除く受託事業)	12,537,111	11,612,716	13,826,936	10,854,680	
安全工学セミナー	5,899,440	5,050,400	7,569,000	5,050,400	2019予算並み 但し収支予測を踏まえて、消費税+αの 参加費などの値上げの可能性を模索する  2019年度の施策(周辺学会・工業会との連携)の、 恒常化が「確」  安全工学便覧第4版販売は2019年度並み ¥560,000
安全工学地域セミナー		371,520	1,197,000	371,520	
安全管理の最新動向講習会	1,421,000	981,560	812,520	981,560	
安全工学実験講座	1,127,520	1,109,880	1,365,120	1,109,880	
災害事例研究会	574,452	575,000		575,000	
地域企業支援セミナー	213,032	213,000	77,760	213,000	
教育セミナー	1,031,400	1,031,400	COVID-19(2月)/中止	1,031,400	
図書販売	152,267	198,156	548,955	550,000	
年間購読料	843,600	839,800	927,481	839,800	
会誌広告掲載料	1,274,400	1,242,000	1,329,100	1,242,000	
2.2.2普及啓発事業収入(受託事業)	5,400,000		0	0	
経済産業省受託事業		0	0	0	
他委託事業	5,400,000	0	0	0	
2. 3保安力向上センター(業務受託)			0	600,000	保安力向上センターからの一般事務業務受託 事業としての取り組み開始/2019年度は雑収入扱い
3. 会員負担金	204,120	64,800	0	64,800	
研修会	204,120	64,800	0	64,800	
4. 預金利息	381	500	418	500	
預金利息	381	500	418	500	
5. 雑収入	1,715,547	740,000	2,306,527	640,000	
雑収入	1,715,547	740,000	(*)	640,000	2019年度:還付金¥1,002千、便覧印税¥481千、 向上CT¥730千円をふくむ 2020年度:便覧印税¥500,000推定
6. 寄附金・助成金			1,376,000		
7. 引当金からの繰り入れ					
事業引当金					
退職引当金					
当期収入 合計	(*)				
学会当期収入	50,860,859	43,544,516	50,731,381	42,446,480	
向上CT 当期収入合計					
学会 繰越金	34,748,704	34,339,810	36,996,299	36,859,470	
学会(当期収入+繰越金合計)		77,884,326			
当期収入合計	50,860,859	43,544,516	50,731,381	42,446,480	
当期支出合計	49,104,326	43,953,410	48,413,786	42,583,309	
当期経常増減額	1,756,533	-408,894	2,317,595	-136,829	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	
当期正味財産増減額			2,247,595	-206,829	

科 目	2018年度実績	2019年度 予算	2019年度 実績	2020年度 予算	
II. 支出の部					
1. 事業費	24,117,493	19,408,592	22,468,607	18,663,489	
1. 1 研究・教育事業費	7,299,566	6,377,726	10,266,270	6,377,726	
安全工学研究発表会	3,053,353	1,897,726	2,612,792	1,897,726	
学術委員会、研究会、WG	148,740	150,000	87,632	150,000	
プロセス安全シンポジウム	3,948,802	4,000,000	7,434,946	4,000,000	
APSS			0		
研究会	117,619	300,000	89,044	300,000	
シンポジウム実行委員会	31,052	30,000	41,856	30,000	
1. 2 普及啓発事業	15,931,141	12,164,142	10,834,899	11,419,039	
1.2.1 普及啓発事業(除く受託費)	11,294,101	12,164,142	10,829,661	11,419,039	
会誌発行	5,561,819	5,682,039	5,718,115	5,682,039	
安全工学セミナー(含 地域セミナー)	1,997,024	2,700,000	2,537,109	2,700,000	
講習会(安全管理最新動向、実験)	1,645,609	1,582,103	1,767,791	600,000	←実験セミナー中止
災害事例研究会	212,196	212,000	7,171	212,000	
地域企業支援セミナー	223,860	334,000	60,000	334,000	2019予算並み (消費税増税分は個別のevent毎の参加費等に反映させる)
教育セミナー	922,453	923,000	16,131	923,000	
常置委員会(編集、普及)	339,171	339,000	354,955	339,000	
他委員会(災害情報、受託事業)	223,003	223,000	71,014	223,000	化学会館工事に拠る会場費アップの負要因
経営者懇談会	106,119	106,000	17,377	106,000	
販売図書費(含便覧改訂編集委員会)	62,847	63,000	279,998	300,000	
1.2.2 普及啓発事業(受託)	4,637,040	0	5,238	0	
経済産業省受託事業期限内		0	0		
経済産業省受託事業期限外		0	0		
他 受託	4,637,040	0	5,238		
1.2.3 保安力向上センター					
事業運営費					
事務管理費(人件費含む)					
1. 3 調査及び情報収集事業	185,460	164,724	654,059	164,724	
ホームページ関係	185,460	164,724	654,059	164,724	
電子閲覧化検討費					
1. 4 研究奨励・表彰事業	206,733	207,000	178,467	207,000	
各賞授与関係	206,733	207,000	178,467	207,000	
1. 5 諸団体連携・協力事業費	494,593	495,000	534,912	495,000	
諸会費	494,593	495,000	534,912	495,000	
2. 管理費	22,689,835	23,507,311	25,227,379	22,882,313	
2.1 人件費	17,677,758	17,525,333	20,164,255	17,548,783	
給与・賞与	14,176,474	13,800,171	14,529,211	13,800,171	非課税
退職金支給					
通勤	1,245,526	1,266,279	1,419,612	1,289,729	消費税反映
福利厚生費	2,255,758	2,458,883	2,221,422	2,458,883	非課税
退職給与繰入金			1,994,010		
2.2 その他管理費	5,012,077	5,981,978	5,063,124	5,333,530	
研修会	215,487	21,000	0	21,389	2019予算並みに消費税反映
事務用消耗品	19,705	20,000	6,325	20,370	
一般会議費	395,760	396,000	422,530	403,333	
旅費交通費	236,258	236,000	168,260	240,370	
通信運搬費	627,146	1,000,000	359,585	1,018,519	
印刷製本費	179,440	179,000	195,472	182,315	
共益費・光熱費	502,445	502,000	499,900	502,000	
賃借料	1,357,704	1,357,704	1,372,376	1,382,847	
事務所管理費他	1,097,773	1,218,000	1,061,424	1,100,000	
諸謝金		22,274	22,274	22,686	
コンサルタント料	324,000	324,000	324,000	330,000	
振替手数料	30,140	30,000	28,370	30,556	
雑費	26,219	626,000	600,608	26,219	2019年度はSSL対応などあり
図書費		0	2,000	2,000	
アドバイザーボード関連		50,000	0	50,926	
3. 租税公課	2,296,998	1,037,507	717,800	1,037,507	
学会分	2,296,998	1,037,507	717,800	1,037,507	
向上センター分 (経産省受託事業前年分消費税)					
4. 会費償却費					
5. 予備費					
学会予備費					
6. 引当金繰入額					
退職引当金					
当期支出 合計					
学会当期支出合計	49,104,326	43,953,410	48,413,786	42,583,309	
向上CT 当期支出合計					
7. 次期繰越額					
次期繰越金(センターを除く場合)	34,748,704	34,339,810			



## 六つの論点・要点

- ★教育
- ★Visionの見直&設定の仕組
- ★研究会・研究部会の企画
- ★防災と安全工学
- ★化学プロセス安全
  
- ★学会収支（社会貢献）

## 四つの目標

- ★AI・IoT、防災と予測、人間行動、CSO

→会誌、研究発表会OS、PD、WS

2019

- 将来構想研究会
- プロセス安全管理手法研究会
- 産業防災研究会
- プロセス安全シンポジウム開催
- 周辺学協会との連携

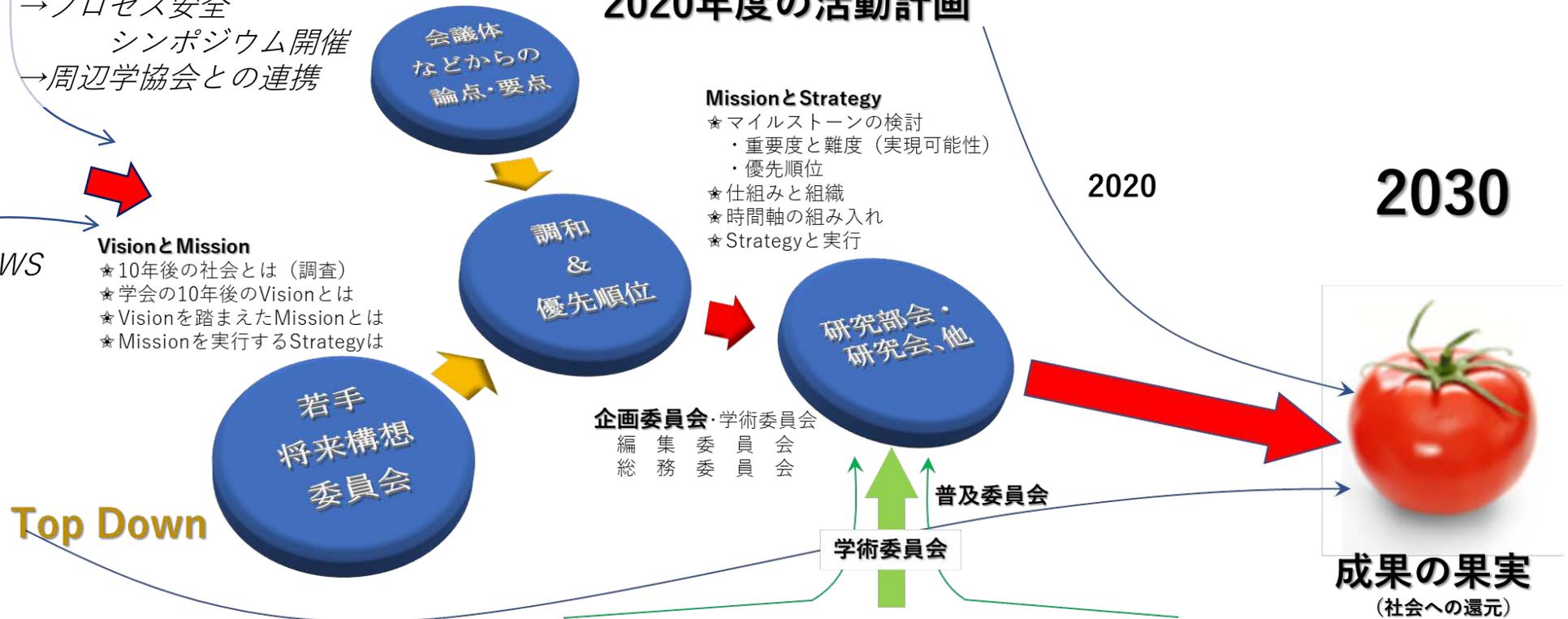
## 2020年度の活動計画

### MissionとStrategy

- ★マイルストーンの検討
  - ・重要度と難度（実現可能性）
  - ・優先順位
- ★仕組みと組織
- ★時間軸の組み入れ
- ★Strategyと実行

2020

2030



Top Down

若手  
将来構想  
委員会

調和  
&  
優先順位

研究部会・  
研究会、他

成果の果実  
(社会への還元)

学会員の方々から湧き出るテーマの“芽”

安全工学会 会員の方々

Bottom Up